

フィリピン共和国ラグナ州ファミリー市長等の来訪に関する決議

いわゆる姉妹都市・友好都市に係る事業の推進については、町議会における令和5年度及び令和6年度の当初予算審議において、関連予算を削除する修正案が可決されたところである。

このことは、議会として、姉妹都市・友好都市事業の一切の推進を現時点において是としない判断であり、まずもって、前川町長には再三議会に対し丁寧な説明を行うことを求めているところである。

それにもかかわらず、昨年にはファミリー市と覚書を締結するほか、この間、当初からの経過に係る資料の提出を求めてもこれを拒むなど、議会に対する真摯な対応が行われているとは言い難く、甚だ遺憾である。

加えて、今回の来訪計画は、ファミリー市長のみならず、ラグナ州内の他の自治体の長も来訪するとのことであるが、その目的は不明確であり、その状況で本町が14名分のインビテーション（招待状）を発行したことは看過できるものではない。

この間の前川町長の行動は、議会の意向を一切顧みないものであり、我々は今回の来訪計画そのものについても到底認めることは出来ないものであるが、仮にこれが実行された場合であっても、昨年の

ように覚書やこれに類する書面を相互に交わすようなことはあってはならず、前川町長にはそうした行動について、厳に自重されるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和6年6月21日

大山崎町議会